

平成24年行政事業レビューシート

(総務省)

<b>事業名</b>	ユビキタス健康医療技術推進事業	担当部局庁	情報流通行政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～平成23年度	担当課室	情報流通高度化推進室	室長 吉田 恭子			
会計区分	一般会計	施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法 第4条第76条	関係する計画、通知等	新たな情報通信技術戦略(平成22年5月11日決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療従事者の不足、業務負担の増大等による医療過誤を防止し、医療従事者の負担を増加させることなく、安全・安心に役立つユビキタスネットワーク技術等の活用を促進し、医療現場の安全性向上や業務の効率化を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国の医療現場は医療従事者の不足が深刻であり、業務負担の増大により医療過誤も多く、医療の安全性向上や業務効率化を図る取組が急務であるため、医療実施空間でのユビキタスネットワーク技術(電子タグ、センサネットワーク、無線LAN等)を利用し、情報を収集・管理することにより、医療事故の未然防止、安全・安心な医療の実現、情報共有による医療従事者への業務支援を図るべく、医療機関等でのユビキタスネットワーク技術導入に向けた技術的検証を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	70	189	149	0	0
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	70	189	149	0	0
	執行額	53	179	145			
執行率(%)	75.7%	94.7%	97.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業の成果はユビキタスネットワーク技術に関するICT関連機器・システムに関する技術仕様の策定であり、定量的な目標設定は困難	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	実施したプロジェクトの件数	活動実績 (当初見込み)	件	3	4	4	—
					( 4 )	( 4 )	( — )
単位当たりコスト	36 (百万円/件)		算出根拠	予算額:149百万円 平成23年度に実施したプロジェクト数4(調査研究) 単位あたりコスト=執行額/実施したプロジェクト数			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	-	0	0	平成23年度で事業終了。			
	計	0	0				

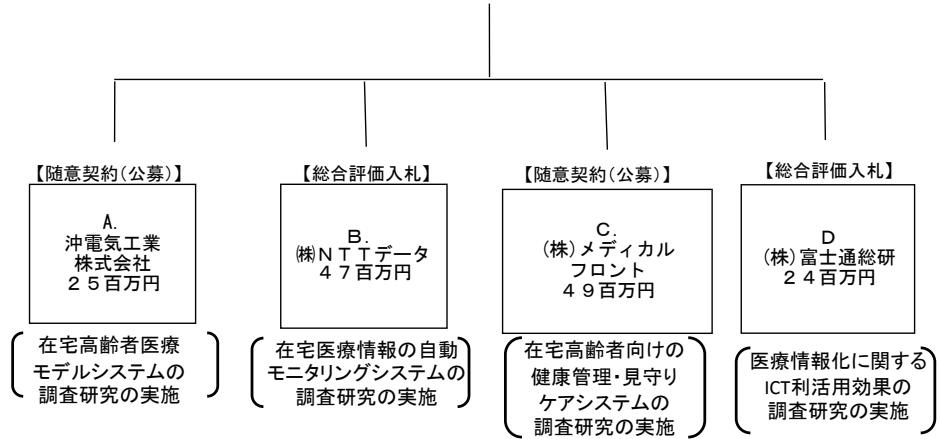
事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国が直面する健康医療分野における様々な課題の解決のためには、ユビキタスネットワーク技術の普及や高度利活用に向けた取組を国がリーダーシップをとり早急に進める必要がある</li> <li>・不用率は2.7%と小さい。</li> </ul>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容に応じて、総合評価入札による調達を行い、単位あたりコストの削減に努めた。</li> <li>・調達に関して、公募を行い、入札希望者を募った結果1者が希望し、随意契約を行ったものがある。</li> <li>・本事業によりユビキタス技術の医療機関等への導入が促進され、医療の安全性が向上し、医療従事者の業務負担が軽減されることは、国民全体の利益にかなうものであり、全額国費で負担することは妥当である。</li> <li>・本事業は中間段階での支出はない。</li> <li>・事業の執行に当たっては、調査に必要な経費に限って計上しているところ。</li> </ul>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、ユビキタスネットワーク技術に関するICT関連機器、システムの安全かつ効率的な技術仕様を確立する等、ユビキタスネットワーク技術の医療機関等への導入の促進に向けて実効性の高い手段となっている。</li> <li>・本事業の成果はユビキタスネットワーク技術に関するICT関連機器・システムについての技術仕様の策定であり、定量的な目標設定は困難。</li> <li>・活動実績は見込み通りである。</li> <li>・本事業については厚生労働省と連携して行っているところ。</li> </ul>
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子タグの単純な読み取りなどは、現段階でも医療機関において一部行われ始めているが、我が国が直面する健康医療分野における様々な課題の解決のためには、ユビキタスネットワーク技術の普及や高度利活用に向けた取組を国がリーダーシップをとり早急に進める必要がある。</li> <li>・医療機関等に対してユビキタスネットワーク技術仕様を示すことにより、電子タグやセンサーネットワーク等のユビキタスネットワーク技術の医療機関等への導入を促進し、医療の安全性向上、医療従事者の業務負担の軽減に資するとともに、医療費の適正化に資する。</li> <li>・仕様の検討に当たっては、複数の業者等へのヒアリングを実施し、実施内容を整理した。フィールド検証については、医療機関等との調整が必要となるため、一定期間募集を行い、入札者を募った結果入札希望者が1者であった場合に随意契約を行い、入札希望者が複数者に渡る場合は一般競争を実施するなど適切な調達の方法の決定に努めた。</li> <li>・請負先に対しては、実施計画書の提出や進捗報告の場を求めると、調査内容の進捗管理・把握に努めた。</li> </ul>		
予算監視・効率化チームの所見			
平成23年度をもって事業終了			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
初期の目標を達成したことから、23年度をもって事業終了			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0086

※平成23年度実績を記入

# 総務省

145百万円

【実証実験の調達、事業進捗管理】



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.沖電気工業株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査環境構築費(設計・設置・調整・試験)、調査研究・報告書作成	18			
機器費	検証用機器費	7			
計		25	計		0
B.(株)NTTデータ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
機器費	検証用機器費	31			
人件費	調査環境構築費(設計・設置・調整・試験)、調査研究・報告書作成	16			
計		47	計		0
C.(株)メディカルフロント			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査環境構築費(設計・設置・調整・試験)、調査研究・報告書作成	35			
機器費	検証用機器費	14			
計		49	計		0
D.(株)富士通総研			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査研究・報告書作成	24			
計		24	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖電気工業株式会社	ユビキタスネットワーク技術を活用した在宅高齢者医療モデルシステムとして、医薬連携システムと、服薬管理システムに関する調査	25	随意契約 (公募)	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社NTTデータ	ユビキタスネットワーク技術を活用した医療情報自動モニタリング業務システムに関する調査	47	3	95.2%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社メディカルフロント	ユビキタスネットワーク技術を活用した外出・来訪、排泄、入浴、調理、服薬の生活行動モニタリングシステムに関する調査	49	随意契約 (公募)	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	株式会社富士通総研	医療情報化に関する取組事例として、遠隔医療に関する課題や費用対効果に関するエビデンスに関する調査	24	2	77.3%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					